

ロキソプロフェンT液

2022年10月作成

ロキソプロフェンT液 購入前チェック

第1類医薬品

★ロキソプロフェンT液を購入する前に、以下のチェック項目を薬剤師と確認し、この医薬品が使用できることをチェックしてください。

はい・いいえでお答えください。(該当するチェック欄に☑を記入してください)

次のいずれかに当てはまりますか？

- 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある
- 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある
- 15歳未満である
- 次の病気の治療を受けている
胃・十二指腸潰瘍、肝臓病、腎臓病、心臓病
- 次の血液異常を指摘されている
赤血球数が少ない、血小板数が少ない、白血球数が少ない等
- 出産予定日12週以内の妊婦である
- 現在、他の解熱鎮痛薬やかぜ薬、鎮静薬を服用している
- ロキソプロフェンナトリウム水和物が配合されたお薬を長期連続して服用している



使用しないでください

はい

ひとつでもチェックがある場合は、
ご購入いただけません

↓ いいえ

次のいずれかに当てはまりますか？

- 医師又は歯科医師の治療を受けている
- 妊婦又は妊娠していると思われる
- 授乳中である
- 高齢者である
- 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある
- 次の診断を受けた
気管支ぜんそく、潰瘍性大腸炎、クローン病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
- 次の病気にかかったことがある
胃・十二指腸潰瘍、肝臓病、腎臓病、血液の病気



服用する前に、医師、
歯科医師又は薬剤師に
相談してください

はい

↓ いいえ

ご使用いただけます

ご不明点等、相談したうえでご使用ください。
用法・用量は正しく守ってご使用ください。

年齢	1回量	服用回数
成人 (15歳以上)	1本 (10mL)	1日2回まで *ただし、再度症状があらわれた場合には 3回目を服用できます。 服用間隔は4時間以上おいてください。
15歳未満		服用しないこと

ご使用前に必ずお読みください

情報提供資料

ロキソプロフェンT液

第1類医薬品

お客様用

販売名	ロキソプロフェンT液 LOXOPROFEN T LIQUID
有効成分名	ロキソプロフェンナトリウム水和物 LOXOPROFEN SODIUM HYDRATE
含有量 1本(10mL)中	68.1mg(無水物として60mg)
剤形	経口液剤

情報提供資料について

情報提供資料は、服用者の皆様や家族の方などに、医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。したがって、この医薬品を服用するときに特に知っていただきたいことを、添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の服用による重大な副作用と考えられる場合には、直ちに服用を中止し医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。さらに詳しい情報として、「独立行政法人 医薬品医療機器総合機構のホームページ」に添付文書情報が掲載されています。

1 このお薬の効果は？

- このお薬の有効成分は、非ステロイド性消炎鎮痛薬(NSAIDs)と呼ばれるグループに属し、非ピリン系です。
- このお薬は、痛みや熱の原因となる物質プロスタグランジンを抑え、痛みや熱の症状を改善します。
- このお薬は、次の目的で服用いただけます。
 - 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
 - 寒寒・発熱時の解熱



2 このお薬を使う前に、確認すべきことは？

●次の人は、このお薬を服用することはできません

(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

- (2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3)15歳未満の小児。
- (4)医療機関で次の治療を受けている人。
 - 胃・十二指腸潰瘍 ○肝臓病 ○腎臓病 ○心臓病
- (5)医師から次の血液異常(血液の病気)を指摘されている人。
 - 赤血球数が少ない(貧血) ○血小板数が少ない(血が止まりにくい、血が出やすい) ○白血球数が少ない等
- (6)出産予定日12週以内の妊婦

●このお薬を服用している間は、他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬のいずれも服用することはできません

●服用前後は飲酒しないでください

●長期連続して服用しないでください

(3~5日間服用しても痛み等の症状が繰り返される場合には、服用を中止し、医師の診察を受けてください)

●本剤は、痛みや発熱などの原因となっている病気を治療するものではなく、今出

ている症状を治療するためのお薬です。**症状がある場合のみ服用してください。**

●**次の人は慎重に服用する必要があります。服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください。**

- (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3)授乳中の人。
- (4)高齢者。
- (5)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6)次の診断を受けた人。

○気管支ぜんそく ○潰瘍性大腸炎 ○クローン病 ○全身性エリテマトーデス ○混合性結合組織病

(7)次の病気にかかったことがある人。

○胃・十二指腸潰瘍 ○肝臓病 ○腎臓病 ○血液の病気

3 このお薬の使い方は？

●服用量および回数

症状があらわれた時、次の量をなるべく空腹時をさけて服用してください。

年齢	1回用量	服用回数
成人 (15歳以上)	1本 (10mL)	1日2回まで *ただし、再度症状があらわれた場合には3回目を服用できます。 服用間隔は4時間以上おいてください。
15歳未満		服用しないこと

1～2回服用しても症状がよくなる場合は、他の疾患の可能性がありますので服用を中止し、このお薬の説明書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください。

●どのように飲むか？

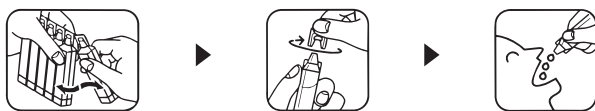
空腹時の服用をさせるため、なるべく食べ物や飲み物をとってから服用してください。

【服用するときの注意点】

○定められた用法・用量を厳守してください。

○1本を切り離し、容器を立てた状態で矢印の方向にゆっくりと回し、開けてください。

(いきおいよく開けると、薬液が飛び出すことがあります)



胴体部分を持ち下からねじるように切り離します。 立てたまま、ゆっくり回して開封します。 軽く押しながら服用してください。

●多く服用したとき (過量服用時) の対応

誤って多く服用した場合は、このお薬の説明書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

本品も含め解熱鎮痛薬は、症状がある時だけ服用すべきお薬で、長期間連続して服用するものではありません。重大な病気等を見逃さないためにも、また副作用の発生防止の見地からも、使用上の注意をお守りいただき服用してください。

4 このお薬を服用中に気をつけなければならないことは？

●服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、このお薬の説明書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください。

○体温が平熱より低くなる、力が出ない (虚脱)、手足が冷たくなる (四肢冷却) 等の症状があらわれた場合

○消化性潰瘍、むくみがあらわれた場合

また、まれに消化管出血 (血を吐く、吐き気・嘔吐、腹痛、黒いタール状の便、血便等があらわれる)、消化管穿孔 (消化管に穴があくこと。吐き気・嘔吐、激しい腹痛等があらわれる)、小腸・大腸の狭窄・閉塞 (吐き気・嘔吐、腹痛、腹部膨満等があらわれる) の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

【副作用】

●これらの症状があらわれた場合は、このお薬によるアレルギー症状であるか、このお薬の薬理作用が強くあらわれたものと考えられます。このような場合、同じ薬を続けて服用すると症状が更に悪くなる可能性がありますので、このお薬の説明書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	腹痛、胃部不快感、食欲不振、吐き気・嘔吐、腹部膨満、胸やけ、口内炎、消化不良
精神神経系	眠気、しびれ、めまい、頭痛
循環器	血圧上昇、動悸
その他	胸痛、倦怠感、顔面のほてり、発熱、貧血、血尿

●服用後、次の症状があらわれる場合があるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、このお薬の説明書を持って医師又は薬

剤師に相談してください。

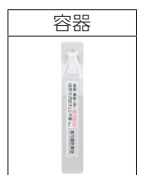
□のかわき、便秘、下痢

●まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
血液障害	のどの痛み、発熱、全身のだるさ、顔やまぶたのうらが白っぽくなる、出血しやすくなる (歯茎の出血、鼻血等)、青あざができる (押ししても色が消えない) 等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮剥離症、多形紅斑、急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、水疱が皮膚の赤い部分にあらわれる、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ (小膿疱) が出る、全身のだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛 (節々が痛む)、下痢等があらわれる。
うっ血性心不全	全身のだるさ、動悸、息切れ、胸部の不快感、胸が痛む、めまい、失神等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸 (皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
横紋筋融解症	手足・肩・腰等の筋肉が痛む、手足がしびれる、力が入らない、こわばる、全身のだるい、赤褐色尿等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。)
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

5 このお薬の形は？

形状	経口液剤
容器の大きさ (高さ×幅×厚み)	84×15×18mm
1回使用量	1本 (10mL)
色	無色～微黄色澄明



6 このお薬に含まれているのは？

有効成分 1本 (10mL) 中	ロキソプロフェンナトリウム水和物 68.1mg (無水物として60mg)
添加物	パラベン、サッカリンNa、クエン酸Na、クエン酸、香料、プロピレングリコール、エタノール、バニリン

7 その他

●適正使用のために「ロキソプロフェンT液 購入前チェック」を活用してください。

○このお薬を適正にお使いいただけるよう、「ロキソプロフェンT液 購入前チェック」で、本剤を服用できるかどうかを薬剤師と一緒にチェックしてください。

●このお薬の保管方法は？

○直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。

○小児の手の届かない所に保管してください。

○他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)

○使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

○**目薬と誤って、目に入れないように注意してください。**

●お薬が残ってしまったら？

○残った場合は、上記保管方法を守り、必要ときに読めるよう説明書とともに保管してください。使用期限を過ぎた製品は、処分してください。

8 このお薬についてのお問い合わせ先は？

○症状、服用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、薬剤師にお尋ねください。

○一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

発売元：大正製薬株式会社

お客様119番室 電話：03-3985-1800

※受付時間は、大正製薬ホームページにてご確認ください

○医薬品を適正に使用したにもかかわらず副作用による一定の健康被害が生じた場合に、医療費等の給付を行い、これにより被害者の救済を図ろうという「医薬品副作用被害救済制度」があります。

この制度に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

(独) 医薬品医療機器総合機構

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

電話：0120-149-931 (フリーダイヤル)

製造販売元：日工工株式会社

発売元：大正製薬株式会社